

外国人観光客へのおもてなし力を付けてみませんか!?

市は、市内事業者を対象に「インバウンドおもてなしサポート事業」を実施しています。市国際交流員のエミリーさんとアシュリンさんが、英語圏本場の知識を、優しく詳しく丁寧に教えます。現在、4つの事業所で実施中です。



内容

- 日本語メニューの英語表記化、指さし会話シートなどの作成
 - 外国のマナーや食文化の学習
- ※申し込みなど詳しくは、市のホームページをご覧ください、お問い合わせください

実施事業所の声

(餅処 小島かふえ)

この事業に参加して、海外からのお客さまが来店した際の、英語での注文のとり方や対応の練習ができました。ラグビーワールドカップ2019の時に、自分の店で何ができるのか、だんだんと分かってきました。ぜひ皆さんもチャレンジしてみてください。

☆エミリーさんとアシュリンさんが活動している様子を

YouTube で公開しています。

「おもてなし 釜石」で検索!

問い合わせ

市オープンシティ推進室 国際交流係 ☎27-8463

✉ opencity@city.kamaishi.iwate.jp

インバウンド…外国人が観光、旅行に来るという意味

釜石地区被災者相談支援センターをご利用ください

4月の専門家相談スケジュール

ファイナンシャル・プランナー	18日(水) ※18日以外でも、予約することで随時相談できます。訪問相談も実施しています
弁護士	5日(木)、12日(木)、 19日(木)、26日(木)
司法書士	6日(金)、20日(金)

☎080057345494

■ 場所 市役所第5庁舎 1階
■ 問い合わせ 釜石地区被災者
相談支援センター ☎0120-
836730 (通話料無料)

※事前に予約することで待ち時間なく相談できます

■ 開設時間 月～金曜日(祝日を除く)、8時30分～17時15分
※専門家による相談は10時～12時と13時～15時です

釜石地区被災者相談支援センターは、県や市の被災者支援制度などの問い合わせや、日ごろから抱えている不安や悩みなどの相談を受け付けています。また、弁護士や司法書士などの専門家相談も行っています。

胆大心小

たんだいしんしょう…強い勇氣、大きな志と共に、細やかな思いやりの心で眞の復興へ

市長のつぶやき 38
仕事内容の「見える化」に取り組みます

市が取り組んでいるさまざまな仕事を市民の皆さんに理解していただくため、昨年度から仕事内容の「見える化」を展開しています。その第一弾として、生活応援センターと消防の仕事内容のPR番組をそれぞれ制作しました。この番組は4月以降も随時ケーブルテレビで放送される予定です。

特に生活応援センターは、市政運営の最も重要な取り組みの一つです。市役所の出張所機能を担う他、地域会議や公民館活動、保健師による健康づくりのサポートも行っています。まだまだ市民の皆さんには、このような情報がきちんと伝わっていないのではないのでしょうか。

本年度も「見える化」を進め、仕事内容のPRだけではなく、皆さんにお届けする文書も分かりやすく作成したいと思います。

市民の皆さんには、機会あるごとに市政の情報に触れていただき、意見や提案をお寄せいただくなど、地域住民と行政が共に協力しながら、地域づくりを進めてまいります。

釜石市長 野田武則